

「健康・生活」

こどもたちの健康状態をしっかりと把握する。体調不良等による意思の表出が困難なこどもには、普段と違う表情や様子を確認しながら健康管理を行う。排泄や着替え、荷物の整理など、生活に必要なスキルを身につけられるよう、活動の一部にスキル獲得の動きを取り入れたり、自分でできる喜びを感じることができるよう機会を与える。

「運動・感覚」

こども自身の感覚の反応、動きの得手不得手を把握し、日常生活においてその動きの苦手さ、感覚の過敏さ鈍麻の原因を明らかにする。基本的な運動能力（歩行・跳躍・姿勢）や手指の巧緻性（手先の器用さ・道具の使用等）の向上を目標に活動内容を決定する。どんな補助をすることで、こどもが動きやすいか生活しやすいかなどの環境調整を行う。

【自由遊び 身体アプローチ（統合遊び・感覚遊び・リズム遊び・コミュニケーション遊び）など】

「認知・行動」

思考力、問題解決能力、理解力などを育むために、様々な場面を通して成功体験を積み重ねていく。数、色、形、文字の概念を理解し習得するために活動や遊びを通じて理解の促進を行う。また必要に応じて視覚的要素も取り入れる。場面に適した行動の習得を目指すため、具体的なモデルを示したり、一貫性のある対応やフィードバックを通じてポジティブな側面に焦点を当て、様々な場面で適切な行動を理解し実行する力を徐々に身につけていけるよう支援する。

【お買い物ごっこ・当てっこ遊び・クッキング・畑遊びなど】

「言語・コミュニケーション」

コミュニケーションには環境面や支援者との関係性が不可欠であると理解し、こどもたちがのびのびと自分の思いを表出したり、言語指示に対する理解を深めることができるよう配慮する。その子に合う意思伝達方法を身につけるために非言語コミュニケーション（身振りや手振り・表情・視線・空間的距離・触覚コミュニケーション・絵カード等）も積極的に活用しながら相互理解を図る。

「人間関係・社会性」

対人関係の形成や協調性、ルールの理解、自己理解、自己コントロール、集団参加への意欲などをねらいとし、こどもたち一人ひとりが安心安全だと思える土台づくりを大切にする。

他児や大人と関わる機会の中で、協力やチームワークの重要性を学んだり、お互いに助け合う経験を積みませ他者と協力するスキルを育てる。小さな成功でも積極的に褒めることで、自信を持ちより積極的に社会的な場面に関わろうとするよう促す。

【ふれあい遊び・所外活動での地域の方との交流など】